

説明会配布資料より

審査予約の手順

- ① 審査を受ける予定の前月末までに登録申請書等を文化財保護係まで提出してください。
- ② 申請書を受理後、審査会受付通知を送付します。申請書の内容によっては希望する審査日に審査を受けられないことがありますので、ご了承ください。
- ③ 審査会受付通知を受け取った後、指定審査日・時間及び銃砲刀剣類の審査件数等変更を希望される場合は審査日の10日前までに文化財保護係までご連絡ください。
- ④ 審査は予約制ですが、指定を受ける時間は目安ですので審査の進展状況によりお待ちいただくことがあります。

審査手順等

- ① 指定された時間に東京都庁第二本庁舎1階北側入口に集合してください。  
※庁舎内は、指定された場所以外の立入はできません。
- ② 時間になりましたら職員が迎えに参りますので、審査会案内文書及び身分証明書等の提示をお願いします。
- ③ 受付で審査手数料の支払等を行い、審査の順番まで会場で待機します。
- ④ 名前を呼ばれたら、現物を持って審査席に向かい審査を受けてください。
- ⑤ 登録できたものは、登録証を交付します。銃砲刀剣類とともに保管してください。
- ⑥ 登録できなかった銃砲刀剣類は、住所地の警察署へ届け出て廃棄する事になります。この場合、登録審査手数料はお返しできません。審査後に「登録対象外」と判断されたときも同様です。

東京都銃砲刀剣類登録審査会の手続きが変更になり文化財保護担当官らを招き説明会開催

この四月からの東京都銃砲刀剣類登録審査会の手続きに関して変更があり、全国刀剣商業協同組合では去る二月十七日、その説明会を東京美術倶楽部において開催しました。講師として

都教育庁から地域教育支援部管理課課長補佐(文化財保護係長)の大畑浩子様と、同文化財保護担当官の小森勉様においていただきました。

八十名を超える組合員・賛助

会員参集の下、深海理事長の挨拶に続き、清水専務理事の進行により前半は変更の骨子について説明をいただき、後半は質疑応答の時間を設けることとして、説明会が始まりました。

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



2014.3.15 VOL.16  
発行人 深海 信彦  
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
http://www.zentosho.com

第16号編集担当  
赤荻 稔 飯田 慶雄 飯田 慶久 伊波 賢一  
大西 芳生 大平 将広 川島 貴敏 嶋田 伸夫  
清水 儀孝 生野 正 新堀 賀将 土子 民夫  
網取 讓一 服部 暁治 深海 信彦 藤岡 弘  
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏

第27回通常総会は5月17日

来る五月十七日(土)に第二十七回通常総会を開催します。組合員の皆さまには何かと多忙とは存じますが、ぜひご出席をお願いいたします。

総会は東京美術倶楽部交換会会場で午前十時に開会します。総会終了後、特別交換会も開催しますので、併せてご参加をお待ちしています。

当日の審議事項は下記の通りです。

- ①開会の辞
- ②出席状況報告
- ③理事長挨拶
- ④議長選出
- ⑤議長宣言
- ⑥資料確認
- ⑦議案審議

- (第一号議案) 平成二十五年年度事業報告承認の件、平成二十五年年度会計報告承認の件、監査報告
- (第二号議案) 平成二十六年年度事業計画案決定の件
- (第三号議案) 平成二十六年年度収支予算案決定の件
- (第四号議案) 役員報酬の件
- (第五号議案) 経費の賦課及び徴収に関する件
- (第六号議案) 平成二十六年年度借入金残高の最高限度に関する件
- (第七号議案) 一組合員に対する貸付、また一組合員の為にする債務保証残高の最高限度に関する件
- (第八号議案) 非改選
- (第九号議案) その他
- ⑧総会議事終了宣言
- ⑨開会の辞

新年度から新たに導入が予定される審査の手順は別表の通りですが、今回の変更で便利になったところがあります。まず、来庁者が長い時間待つことなしに審査を受けられるよう、完全に予約制(時間指定)を導入し、審査時間に合わせて集合すればよいこと。遅刻等については、事前連絡があれば配慮することです。

また、一般の方が休暇を取らなくても来庁できるように、今まで平日に行われていた刀剣類登録審査を毎月第三土曜日、古式銃砲の登録を奇数月の第三土曜日(ただし五月と十月のみいずれも第三日曜日)のそれぞれ午前十時午後三時に開催することになりました。なお輸入刀剣の審査は、国際郵便局で毎月第二火曜日に行うこととします。都庁審査・国際郵便局審査ともに審査物件数が著しく多いときは、審査委員を増員して対応

していただけるそうです。以上のような対応には時間的猶予も必要であるため、審査書類は審査月の前月末日までに文化財保護係に提出しなくてはなりません。申請に必要な書類は東京都教育委員会のホームページからも入手できます。今回の変更により、申請者が計画的に申請を進めないと審査が受けられない場合もあり得ます。輸入等についても同様で、場合によっては荷物の保留期間が長くなることにもなりますので注意が必要です。

刀剣・書画・骨董

# 和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商

# やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
年間10回位発行予定  
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-463-5310  
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

# 柳匠堂

## 柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
工房 岡山市北区磨屋町七二二  
TEL 〇八六二二二二二二二二二二九  
FAX 〇八六二二二二二二二二二二九

刀剣古美術

# 三峯美術店

## 町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一六六一  
西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四二二二二二二二二二二六七  
FAX 〇四九四二二二二二二二二二二六七

美術刀剣、小道具、武器類の  
売買、加工及び御相談承ります

# 大阪刀剣会

## 吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一  
TEL 〇六一六六三二二二二二二二二二〇  
FAX 〇六一六六四四一五四六四

# 刀 剣 界

## 特別寄稿

### わが国初の私立美術館100年の伝統を未来へ

公益財団法人大倉集古館学芸員 二島 知美

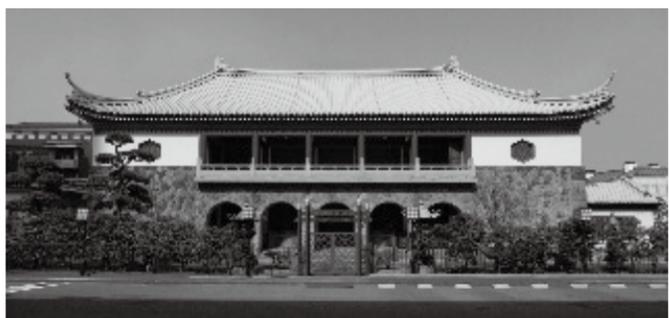
この度、大倉集古館について筆を寄せる機会をいただいたので、少しご紹介いたします。

創始者・大倉喜八郎(一八三七〜一九二八)は、新潟県新発田市で誕生。十八歳で江戸に出て乾物屋に奉公し、独立後、間口一軒の小さな店から始めます。

時は幕末。幕府の崩壊を予想し、諸藩が洋式兵法を採用することを察知して外国人より武器を買い入れ、鉄砲店を開業。明治維新の内乱が大きな商機となり、成功を収めました。

そして新政府が欧化政策を進める中、いち早く自費で渡航し、欧米文化の吸収に努めます。同時期に洋行していた政府要人の知己を得たことも、後の事業拡大につながりました。

喜八郎は、得た富を慈善事業への資金提供や美術品の購入に還元します。美術品購入の背景



伊東忠太博士の設計による大倉集古館 (登録有形文化財)

には、次の三つが挙げられます。一、維新による武家社会の崩壊に伴い、江戸を離れる諸大名が家財を放出。

二、明治政府の神道国教化政策に基づき、神仏分離令発布による仏像破壊からの保護。

三、明治三十三年(一九〇〇)の「義和団事件」の混乱した中で、多くの中国美術が外国に散逸する危機からの回避。

こうして維新当時より永年にわたり蒐集してきた多数の文化財を、授爵(男爵)発表時に公的に寄付し、これらを永久に保存するために、土地・建物に維持資金を添え、日本初の私立美術館として大正六年(一九一七)八月、財団法人大倉集古館を設立します。

喜八郎の没後、家督を継承した嫡男喜七郎も、その蓄財から近代日本画の蒐集や、画家たちへの援助も積極的に行いました。中でも特筆されるのは、昭和五年(一九三〇)に、喜七郎の提唱と全面支援によりローマで開催された「日本美術展覧会」への出品があります。

日本画の展示にふさわしいようにと、日本から大工や職人を連れていき、展示会場を贅沢に設けました。このとき、出品作家や作品の選定を取りまとめる中心的人物として団長に選ばれたのが、横山大観です。集古館の代表的な収蔵品に挙げられる「夜桜」もこのときの出品作です。ほかに下村観山・小林古径・

前田青邨などの出品作が、集古館の近代日本画コレクションの核をなしています。

刀剣についても、重文短刀銘則重(鎌倉時代)をはじめ多数を蒐集するとともに、麹町にあった大倉家の自邸に隣接する「大倉鍛錬所」を営み、製作の支援も行っていました。

現在、登録有形文化財となっている当館の建物ですが、設立当初の建物は関東大震災の火災の影響で、建物と収蔵品の多くを焼失した経緯があります。震災後、焼け残ったコレクションを再び公開するべく、耐震耐火に優れた建物の建設を計画します。東京帝国大学の伊東忠太博士がこの建設を担い、昭和三年に再開館し、今に至ります。

集古館は、国宝三件、重要文化財十三件を含む約二千五百件の美術品を所蔵しています。大倉喜八郎の願いである美術品の永久保存のため、また、さらに充実した保存環境を整え、未来へ大倉コレクションを伝えていくことが責務と考えます。

最後に、執筆の機会をくださった『刀剣界』の関係者の皆さまに感謝を申し上げます。ともに、今後の大倉集古館にご期待いただければ幸いです。

※大倉集古館は、平成二十六年四月一日より、収蔵庫等の改築および展示館設備改修工事に伴い、長期休館します。三月二十日(日)まで、大倉コレクションの精華Ⅲ―工芸品物語 美と技が語るもの」開催中。

載漏れや記載ミスに関しても、原則として安易な再交付はしないでしょうと、警察から要請されている旨の説明がありました。

私たちが全国刀剣商業協同組合は、小冊子「やさしいかたな」などを通して、長年かけ、刀剣を所持するすべての人々に、刀剣類を所持する場合は必ず所持者の名義変更をしなければならぬこと等を啓蒙してきました。刀を所持したら、法令に従って必ず所有者変更の届け出をされる度に、私たちは悩まされて

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更される度に、私たちは悩まされて

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更される度に、私たちは悩まされて



80名を超える関係者が参加した説明会

### 全刀商の活動

### 最近の理事会の様子

組合理事会は、組合活動の健全運営を目指し、規約・制度・諸条件・資格・財務・資金調達運用などについての話し合いの場として定期的に開催されています。

理事会は、毎月十七日に開催される交換会終了後に開かれることが多いようです。そのためか、理事の出席率が良く、一月十七日は監事を含め全員出席という快挙でした。

理事会では端の席に座って

するとう原則を徹底させてきた「やさしいかたな」の功績は誠に大きいのですが、このことによって届け出が増えて、都道府県の対応が後手に回っていることも否定できない事実のような話です。

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更される度に、私たちは悩まされて

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更される度に、私たちは悩まされて

私たちが扱う刀剣類は美術品です。事件などで使用される凶器に美術的価値が高いものはありません。日本刀は日本の大切な文化遺産なのです。銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)については、条文やその運用が変更される度に、私たちは悩まされて

とでしよう。この日の説明によりますと普通、小刀には穿孔がありませんが、元重ねが二・五ミリを超えるものは刀剣類として登録しなければならないということなんです。あまり知られていない話です。

このような案件は、すべての都道府県で同じ基準で執行されているのか疑問です。

文化庁が主導し、全国の教育委員会の銃砲刀剣類登録担当者が一堂に会する機会を設け、登録の基準を明確に定める作業が今、必要なのではないでしょうか。行政には一層努力していただき、さらには登録業務に関わる文化庁・教育委員会・警察の三者間で発展的な話し合いが持たれることを期待します。

説明会は一時間二十分にわたり、熱気にあふれたものとなりました。最後に理事長が、組合員を代表して、「登録審査の手続きが改善されることは大変ありがたいことだ」と述べ、

りがたいことです。次は、所有者変更手続きの円滑化を推進していただきたいと思えます。変更の届け出をする者の側には何の責任もありません。登録時の誤記、脱字、寸法の測り違い、入力ミスなどのために変更届が受理されないようなことがないようにしていただきたい。取り締まりが主眼の警察行政サイドではなく、文化財保護の文化行政の立場から力を見つめてほしいものです」との意見を述べ、閉会となりました。

お忙しい中ご来会いただき、銃砲刀剣類登録審査について懇切丁寧なご説明をしてくださった大畑様・小森様には、誠にありがとうございました。

私たちが全国刀剣商業協同組合では、順法精神に則り、さらに簡潔でスムーズな登録審査が行われる環境を整えられるよう、お手伝いをさせていただければと切望します。(生野 正)

組合役職者の若返りの件では、社会問題にもなっているように、六十歳を過ぎた団塊世代前後が元氣過ぎるあまり、若手の活躍の機会がなかなか回ってこない状態を憂慮しています。それゆえ、組合業務の若手への伝承・習熟の進み具合が遅い状況を見直すため、それぞれの事業部で定年制を採用しようという意見が出ました。

手始めに、市場運営事業部でセリ発句担当を七十歳までとする定年制を採択しました。今後、理事などそれぞれの役職での若返りも議論されるでしょう。(服部 暁治)

また、大刀剣市に出店したいがために組合への入会を希望する例がここ数年見られますが、これも現行の加盟から一年経過後に出店可能という内規を見直すことになりました。大刀剣市に出店したい目的だけで組合に加入するという気運には歯止めをかける必要がある、という組合の姿勢を示すこととなります。



# 風向計

其之十一

深海 信彦

政府はデフレ脱却を測る指標として、消費者物価指数や賃金動向に加え、「需給ギャップ」を重視しているという。需給ギャップとは、日本経済の需要と潜在的な供給力の差を示すものである。

需給ギャップがマイナスの状態は、需要が乏しく供給力が過剰になつてきている状態を示すが、このころ、景気が最も低迷したりリーマン・ショック以来約五年ぶりにマイナス幅が縮小し、供給過剰が少しずつ和らぎ、デフレ圧力が弱まりつつあるという。

この需要がプラスになることが、日銀の掲げる2%のインフレ目標を達成する要であり、エコノミストの間では来年以降には実現できるのではと観測されている。

さて、それではわが業界の需給ギャップは如何なるものであろうか。業界も六年間の景気低迷期から脱し、現在は好況に向かっているはずなのに、業界内には依然として景気の悪い話は聞かれない。需要はあるのに供給が少ないのか、あるいは供給力はあるのに需要が低迷しているのか。次々と生産され続け、そして消費されて跡形もなくなるものとは異なり、今では生産もされない、消費もされない古美術品・刀剣・小道具には、売り手と買い手との間に需給ギャップというものは存在し得ないのであろうか。

でも好況は実感できないのではあるまいか。

業界に未だ本格的な景気回復は遠いとみている人たちの主張は、刀剣の相場が回復していないからだという。それでは、いつの時代の相場に戻れば回復というのであろうか。

刀剣・小道具等の相場の基準が、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が指定する重要刀剣等の取引価格にあることは多くの人が認めることであるが、この取引相場が指定を受けていない刀剣等の売買の目安となつていないことも否めない事実である。

しからば、重要刀剣等の価格が上昇すると業界景気は上向き、下降すると業界は落ち込むかという問いに、景気が回復しないというところには因果関係はなく、相場が高くならざる限り景気は回復しないとみている人には、この先も好況はやって来ないのである。このことが一般の「需給ギャップ」と異なる重要刀剣等の指定数と取引価格との「相対的ギャップ」の特徴であり、わが業界の特殊事情なのである。

点、総累計四三〇一点が重要に指定されていた。

その後、四百五十万円の重要刀剣は三百五十万円、八百万円の重要刀剣は六百五十万円前後の相場が保たれ、長く推移してきたが、バブルと呼ばれた景気絶頂期の平成三年においても四百五十万円であった無銘の重要刀剣の取引相場は昭和四十九年を上回るものではなく、新刀上作の重要刀剣の刀も同様であった。このバブル頂点の前の平成二年までの重要刀剣指定数は古刀・新刀合わせて七十七六点、小道具は一〇七八点、総累計は八八五四点であった。

そして平成二十六年の今日、いや、業界景気が最悪であった平成二十四年までの重要刀剣指定数を見てみると、その前年の平成二十三年までの古刀・新刀・小道具・刀装の累計は一万三三二二点で、バブル時代の約一・五倍であり、昭和四十九年当時から比べると約三倍となっている。

ちなみに、特別重要刀剣の指定数は、平成元年までは新刀・古刀・小道具等の累計が四五八点であったのに対して、平成二十四年度までは累計は一〇四五点となっており、バブル時代より約二・三倍の増加である。そして、現在の無銘の重要刀剣等の相場は、存続の通りである。

このように見てみると、「相対的ギャップ」はおおむね昭和五十年代ごろまではプラスであり、六十年代から平成にかけてマイナスに転じたであろうことが推測し得る。そして、このギャップがプラスのときは好況で、マイナスに転じたから不況に陥るといふこともなく、取引相場の回復・上昇といふことと、業界景気の回復・上昇といふことは直接に結びつかないことがわかり、指定数と価格との「相対的ギャップ」を理解すれば、先行きも読めてくると言える。

常に生きている数字を的確に把握しておけば、相場が上がらないことで景気が上がらないと嘆く必要もないはずである。

愛好家の需要に対して、良品を現在の適切な相場で売ることが大切なことで、購入する側からすれば、安いに越したことはないはずである。相場の上昇に期待するよりも、現在の相場を冷静に見つめ、良品を発掘して顧客に紹介することこそ、自己の業績の回復・

向上に必須のことである。

問題として残ることがあるとすれば、過去に高騰した価格で刀剣等を購入した顧客に対する責任である。相場が高ければ仕入れも高く、高騰した価格をそっくり売りが儲けたなどと思う顧客はいないにしても、申し訳ないという気持ちには消えない。

しかし、それとて、高騰した土地や住宅を購入した人が、地価相場が下落したからといって紹介者を恨むことはなく、時の相場で購入したものであれば、理解は得られるはずである。

## 組合こよみ

(平成26年1月~2月)

- 1月17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加56名、出来高9,955,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて理事会を開催。出席16名
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第16号編集委員会を開催(企画)。出席者、深海理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・飯田理事・網取理事・持田理事・飯田慶雄氏・大沢数馬氏・藤岡弘氏・松本義行氏・土子民夫氏
- 29日 経済産業省関東経済産業局国際課にて特定国際種事業者(象牙・タイマイ等取扱事業者番号)の申請申請、取得
- 2月17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加53名、出来高4,061,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて東京都銃砲刀剣類登録審査変更等説明会を開催。都教育庁から大畑浩子氏・小森勉氏来訪
- 22日 東京刀剣倶楽部会場にて『刀剣界』第16号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・清水専務理事・伊波常務理事・赤荻理事・飯田理事・嶋田理事・正野理事・網取理事・持田理事・飯田氏・大西氏・大平氏・新堀賢将氏・服部一隆氏・松本氏・土子氏

## 文化芸術立国の実現に向けて「文化省の創設」を提唱

NEWS & TOPICS

昨年十月三十日、文化芸術振興議員連盟と文化芸術推進フォーラムの主催するシンポジウム「文化省の創設を考える」(二〇二〇年文化芸術立国の実現に向けて)が東京美術倶楽部で開催されました。実演芸術・映画・美術関係者で構成する文化芸術推進フォーラムと、超党派の国会議員で構成する文化芸術振興議員連盟が、国会で初の「文化芸術制作を充実し、国

の基本政策に据える」請願を提出。これが採択されたのを契機に、東京オリンピック・パラリンピックが開催される二〇二〇年に向け文化芸術立国の実現しようとして、文化省の創設について考え、開催されたものです。

伊藤信太郎事務局長(自民党)の進行により、能楽師野村萬氏、下村博文文部科学大臣の挨拶、画家絹谷幸二氏の問題提起で始まった討論は、塩谷立氏(自民党)、枝野幸男氏(民主党)、松野頼久氏(日本維新の会)、齊藤鉄夫氏(公明党)、松田公太氏(みんなの党)、市田忠義氏(共産党)がパネリストとなり、会長の河村建夫氏(自民党)をまとめ役に、方向性の一致を確認しました。

現在の文化行政は、平成十三年に制定された「文化芸術振興基本法」を基に一定の成果を上げて



超党派の衆参議員が顔をそろえた



文化芸術推進フォーラムのメンバー

います。が、近年の急速な通信ツールの発達とグローバル化により、その活動はさらに幅広く重要度を増しており、その充実のために文化庁から文化省への格上げが期待されることです。なお、現在の文化庁予算総額は一千億円強。人員も限られる中、国家予算の〇・一%です。

その後の懇親会では、中村紘子氏のピアノ演奏と挨拶があり、全国美術商連合会を代表し、浅木正勝(株)東京美術倶楽部会長も紹介され、あらためて文化芸術の幅広さと、行政の重要性を感じました。(伊波賢一)

刀剣・小道具・甲冑武具

目白 **飯田高遠堂**

代表取締役 飯田慶久

〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615

<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本

**松本 富夫 義行**

〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950

[www.touken-matsumoto.jp](http://www.touken-matsumoto.jp)

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑

日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.

(株)日本刀剣

伊波賢一 Ken-ichi Inami

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**

〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11  
松崎煎餅ビル4階

(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏

TEL 03-3563-2551  
FAX 03-3563-2553  
フリーダイヤル 0120-402037

<http://www.taibundo.com>

**刀剣 高吉**

古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!

連絡先 **090-8845-2222**

代表者 高島吉童

東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116

[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)

『山陰中央新報』平成26年1月23日

燃え盛る炉に砂鉄を投入する木原明さん(左)と渡部勝彦さん—  
島根県奥出雲町大呂、日刀保たたら



### 炎に伝う鋼の息吹

国内で唯一、たたら「ゴーツ」と音を立て製鉄を行っている島根 奥出雲町大呂の日刀保たたらで22日、今年最初の製鉄となる火入「種」と呼ぶ最初の砂鉄れ式があった。3昼夜を4つずつ投入。この約70時間に及ぶ作業後、木原さんら2人がを、2月8日まで計30分ごとに砂鉄と木炭を交互に炉に入れ、1回の作業で使う砂鉄は10トン、木炭は12トン。

**奥出雲 日刀保たたら火入れ**

日刀保たたらを運営する日本美術刀剣保存協会や業務を委託された日立金属工業が、たたら関係者ら約30人が出席。期間中の安全を祈願した後、操業が始まった。木原さん(78)と渡部勝彦さん(74)の村下(技師長)2人が、ふいごから送風される度に



調所一郎さんと薩摩拵

低い日射しが、葉をすべて落とした櫛の枝の影法師を枯れた芝の上に投げかけている。調所一郎氏はその芝の上に、自身のコレクションである朱鞘の拵をためらうこともなく裸で無造作に置いて見せてくれた。

かたわらでは、男たちの掛け声と乾いた木刀の音が絶え間なく続いている。調所氏が顧問をしているNPO法人葉丸自願流頭影会が、ここ所沢の航空公園の片隅で行われているのだ。蜻蛉の構えをこの会の佐藤師範代にポーズだけ付けてもらった後、調所氏の拵を見ると、特異で武骨な形状の薩摩拵が一撃必殺のための合理性尽くしであることが納得できる。

### 愛好家・コレクター紹介

#### 調所 一郎さん (神奈川県)

#### ●先祖らの頭影を重ねて、薩摩拵に思い深く

このコラムの取材のための待ち合わせに、週一度の稽古場に招待してくれたのは氏のサービスマン精神の賜物だったのか。

ここまで書けば組合員は皆里文出版から出た書籍『薩摩拵』を思い出していることだろう。武道家の視点を取り上げ、名品だけではなく御用意刀の拵のディテールまで解説しているこの著書は、ひときわ新鮮ではなかっただろうか。

氏こそ島津重豪に見いだされ、藩主・島津齊興の下で家老に就き藩政改革を成功させた調所笑左衛門広郷から七代目の子孫となる人だ。

このコラムの取材のための待ち合わせに、週一度の稽古場に招待してくれたのは氏のサービスマン精神の賜物だったのか。

ここまで書けば組合員は皆里文出版から出た書籍『薩摩拵』を思い出していることだろう。武道家の視点を取り上げ、名品だけではなく御用意刀の拵のディテールまで解説しているこの著書は、ひときわ新鮮ではなかっただろうか。

氏こそ島津重豪に見いだされ、藩主・島津齊興の下で家老に就き藩政改革を成功させた調所笑左衛門広郷から七代目の子孫となる人だ。

家に残されていた薩摩拵を観察することがコレクションへのきっかけとなり、現在は数十点の拵を持つに至っているという。と同時に、広郷が藩の財政改革の中心で、

草の立役者であるにもかかわらず、西郷隆盛や島津斉彬と対立したため、鹿児島での調所家の評価は、世間のそれを超えるものではない。父からはじめでも心配したのか、広郷の子孫と名乗るなど言われ、「それはなぜ？」との疑問が若かった調所一郎氏を突き動かしたであろうことは想像に容易い。

この航空公園の中心で、家族連れで賑わっているモダンな建物に航空発祥記念館だが、人気アニメ「風立ちぬ」の主人公の航空技術者・堀越二郎の資料展示と人の集まりを二分していたのが、エントランスにおける百田尚樹原作のベストセラーを映画化した「永遠のゼロ」のコンセプト展示だった。



葉丸自願流頭影会の稽古風景

若い姉弟が知る特攻死した祖父の存在。当時を知る年輩いた戦友たちを訪ねると、その評判は意外にも生還に執着する隊一の臆病者というものであり、ショックを受けるのだが……。これに先祖の名誉回復の一端の思いで拵の本を出版した調所一郎氏の姿を重ねるのは、冬の公園の風景がもたらすセンチメンタリズムによるものだろうか。

先祖広郷が突き動かす調所一郎氏の旅はまだまだ終わらない。現在、学研の歴史群像シリーズで薩摩拵に関する執筆と資料提供が草案段階にあるという。

現在、コンサルティング会社を経営する氏は、政財界・旧華族社会にも太いパイプを持っていたりする反面、なぜか少年期の笑顔がそのままその顔に張り付いて取れなくなったような好青年OBでもある。(網取譲二)

そもそも「うんちく」とは漢字で書く「蘊蓄」となり、広辞苑によれば「学問の深い知識」という意味のこと。

私の卓球歴が組合機関紙の『刀剣界』にふさわしいかどうかは別として、独断的な「うんちく」を述べたいと思います。

小学生のときは野球に明け暮れ、中学校の部活も野球部に入るつもりが、ひょんなきっかけから卓球部に入ることにになり、その魅力にとりつかれ、高校では指導者にも恵まれ、茨城県のチャンピオンになり、インターハイにも出場しました。

青雲の志を抱いて東京の大学に進学し、文武両道を目指しましたが、二年生の終わりが膝を痛め、大学後半はあまりパツとしませんでした。



### わが青春の卓球

赤荻 稔

ど、理論的にはほぼ同じです。つまり、構え(ため)・インパクト・フォローは多少見たい目が違っても共通しているということ。

マニアックになりますが、最も大事なものはスムーズな体重移動で、全スポーツ共通であると思います。打点はなるべく目の近く、フォローはそれと流れていいのですが、一番難しいのが「ため」です。球をどうやるタイミングでもいいますか、先天的なものもあると思います。

最近ではテレビでの放映も増え、「卓球って面白いね」との声も聞かれます。それはボールが直径二ミリ大きくなり、スピードが若干落ちてラリーが長く続くようになったせいもあるでしょう。それでも、スマッシュのスピードは時速一三〇キロ前後あります。

卓球は英国が発祥でテーブルテニス、ピンポンとも呼ばれ、趣味として楽しむには老若男女を問わず、また循環器系の健康維持・強化に最適なスポーツであると言われています。

私は現在、文部科学省所管のスポーツ推進委員協議会の県の副会長を仰せつかり、ウォーキングや卓球などの指導・推進に当たっています。

われわれの業界はどうしても運動不足になりがちです。身近なところで少しでもスポーツをエンジョイしてみたいかがでしょうか。

### 直木賞作家の山本兼一さん死去

刀剣関係の小説でも知られる直木賞作家の山本兼一さんが2月13日、肺腺がんのため死去した。57歳。京都市出身。

山本さんは出版社勤務などを経て平成14年に『戦国秘録 白鷹伝』でデビュー。時代小説のジャンルで活躍した。

16年、安土城の築城をテーマにした『火天の城』で松本清張賞、千利休の秘めた恋と生涯を描いた『利休にたずねよ』で21年に第140回直木賞を受賞した。いずれも映画化され、後者は25年、カナダのモントリオール世界映画祭で最優秀芸術貢献賞を受賞した。

日本刀の世界にも深い関心を寄せられ、『狂い咲き正宗』『黄金の太刀』『おれは清麿』『仕事は心をたたく』などの著書がある。ご冥福をお祈りします。



大学時代の筆者の勇姿

父の存在。当時を知る年輩いた戦友たちを訪ねると、その評判は意外にも生還に執着する隊一の臆病者というものであり、ショックを受けるのだが……。これに先祖の名誉回復の一端の思いで拵の本を出版した調所一郎氏の姿を重ねるのは、冬の公園の風景がもたらすセンチメンタリズムによるものだろうか。

先祖広郷が突き動かす調所一郎氏の旅はまだまだ終わらない。現在、学研の歴史群像シリーズで薩摩拵に関する執筆と資料提供が草案段階にあるという。

現在、コンサルティング会社を経営する氏は、政財界・旧華族社会にも太いパイプを持っていたりする反面、なぜか少年期の笑顔がそのままその顔に張り付いて取れなくなったような好青年OBでもある。(網取譲二)

ふるさと自慢 第7回 ●東京・下谷永住町  
懐かしの竹町商店街・吉池松坂屋…  
持田 具宏



アーケードとカラ―舗装では先駆けの竹町商店街(佐竹商店街)だが…

吉池は現在、増床して建て替えの最中だし、上野松坂屋も建て替えが決まっていると聞いた。竹町商店街のみが残念なことである。

七間町というのが永住町と隣り合っていた。ここには府立第一高等女学校というのがあって、戦後は都立白鷗高等学校になった。名門の女子校だったが、男子校だった日比谷高校などと比べると、今ひとつ有名にならなかった気がする。

私の母は女ばかり六人

私の故郷というところ、下谷永住町になるのだろうか。母の実家なのだが、祖父は私が四歳のときに亡くなっているから「おばあちゃん家」なのである。

父はタンカー(石油輸送船)の乗員だったので、もっぱら母とおばあちゃん家に住んでいた。その後、小学校は埼玉の自宅から通うのだが、中学・高校は都内の私立一貫教育高だったので、またおばあちゃん家に寄宿することになってしまった。

そんなわけで、おばあちゃん家周辺のことを書いてみようと思う。

下谷永住町がどこかといえば、現在の台東区元浅草。これでもおわかりにならないかもしれないが、かつて刀業会をやり、当組合の交換会会場でもあった下谷神社の隣一画西側なのである。昔は下谷神社の隣に永寿病院という大きな病院があったが、永寿病院は区内の別の所に移ってしまい、跡

地は大きなマンションになっている。

永住町の人々は、竹町商店街(佐竹商店街)で日常の買い物をしてきた。竹町商店街は秋田藩佐竹家二十一万石の上屋敷の跡で、「藩邸」西門ノ扉、竹ヲ以テ作レル故、里俗其之近傍ヲ竹門ト云フ、今之ヲ略シテ竹町と呼ぶのだそうである。

しかし、今、竹町商店街を巡ってみると、全く活気がない。半分以上、いや三分の二はともシャッターを閉めてしまっているのだ。地方都市の商店街だけでなく、東京の台東区でもその生き残りは難しいのであろうか。

昔、日常の買い物は竹町、それよりちょっと良い品物は御徒町駅前の吉池、もっと良い品物は上野松坂屋と決まっていた。日本橋の三越・高島屋に行くのは、年に数回あるか、ないか。庶民の暮らしはそんなものだった。今の若い人には何のことかわからないだろう

親子二人三脚でデパートに地歩を築く

東京新宿にある京王百貨店の六階・美術品売り場「日宝」に、田沢数馬さんをお訪ねしました。

消費税増税前ということもあり、お客さまからの電話がひっきりなしにかかってくるという、初心者の方からベテランの愛好家、また海外の方まで数多くのお客さまも訪れていました。そんなお忙しい中、笑顔で爽やかに対応していただけた。

話を伺うと、百貨店ということ

姉妹の二番目だったが、四番目の叔母しか旧府立一高女、白鷗高校には行けなかった。徒歩一分の所にありながら、六人姉妹のうち四女しか行けなかったという意味で、私の中では難しい学校というイメージなのである。

永住町界隈には寺が多い。誓教寺には葛飾北斎の墓があり、「画狂老人卍墓」という北斎の別号とともに「ひと魂の ゆく気散りしや 夏の原」という辞世の句が刻んである。

最後に紹介するのは、永住町で生きていた有名人というか、放送作家・タレントの永六輔さんである。彼もおばあちゃん家から徒歩一分の最尊寺の次男で、住職のお父さんは、お盆やお彼岸には祖父の供養に来てくれた。永さん自身、お兄さんが住職を継いだこの寺で、よく講和会をしていた。私が二十〜三十代のころで、しばしば聞きに行ったものである。

永さんととはまたま同じ中学・高校に通っている。永さんは高校で一年落第したというので、私も落第してみたが、別にこれといった出世もせず、何となく今を生きている。

刀剣商リレー訪問⑮ 田沢数馬さん

もあって消費税増税前に表示価格やバーコードの変更などをしなければならず、一人ではとても大変そうでした。

当店では、刀剣を主とし、刀装具・武具・甲冑・文人書(古書画)、陶器などの古美術品、印籠などの時絵類、根付など多数揃えております。

社長である父田沢二郎氏と数馬氏の親子二人三脚で営んでいます。田沢さん親子の第一印象は、誰に聞いても「とても優しく温厚



来館者に展示品の魅力を伝える志田さん

耳にする言葉でした。

皆さまよくご存じの通り、刀を学ぶには、刀そのものを見る目はもちろん、これまで積み重ねられてきた鑑賞の歴史や評価、作品が作られた時代の社会・文化・精神性など、本当にさまざまな知識が必要とされ、理解するのは容易ではありません。

それでも、折につけ皆さまの刀への熱い愛を拝聴していると、こんなにも情熱と時間とお金をつぎ込まれる刀の魅力とは何だろうか? と興味を湧いてきます。まだまだ暗中模索といった感じですが、少しずつ刀を知って、早く一緒にその魅力を味わいたいと思う今日のごころです。

美術館に入って間もないころ、愛刀家の皆さまに刀をご覧いただく機会があったのですが、「うーん」「おー…」と感嘆詞が盛んに発せられる二口がありました。「そんなにいいですか」と尋ねると、「そりゃいいよー!」このゴリ

共に味わうために

志田 理子(佐野美術館学芸員)

かつて、東京国立博物館の平常展示室に並んだ名刀の前を素通りしていた私が、まさかまさか刀を扱う日が来るなど、夢にも思いませんでした。

渡邊妙子館長の下で一から刀の勉強が始まり、刀や刀装具の部位を表す名称(横手、区、鐙、栗形など)は、すべて初めて目にし

な人柄です。いつでも笑顔で接してくれ、とても親しみやすい方たちです。

現在の日宝は二郎氏が先代より独立して二十五年。数馬氏は以前はアパレル関係で仕事をなさっていました。その接客態度を勉強し家業を継ごうと決意されました。数馬氏は現在三十五歳、多忙な中にも、良き夫、良きパパぶりを発揮しています。

日宝さんの取り扱う品物は幅広く、とつともない量の知識や情報が必要とされます。また、知識だけでは補えないのが良い品物を見抜く眼。それらが相まって、お店には名品や珍品が多数並んでいま

ゴリした感じ:「健全だよー!」など。口々に語られる少し興奮気味なその言葉もかなり独特で、あらためて未知の世界に足を踏み入れたんだと、思ったのも良い思い出です。

平成二十五年度は「刀剣界」の貴重な紙面で、当館で開催された「清鷹展」展「兜KABUTO」展を度々掲載していただいたご縁で、このコーナーで取り上げてくださることになったそうです。広報に協力いただいた皆さま、ご来館くださった皆さま、ありがとうございました。

この記事が掲載されるころ、既述の二つの展覧会は終了してしまいが、平成二十六年度、佐野美術館では「ゴリゴリ」した「健全な一口」国宝太刀銘一や、名槍「蜻蛉切」ほか重文の刀剣一点を含む展覧会を開催します。静岡県沼津市の実業家・故矢部利雄氏が、人との出会いによって、さまざまな美術品との縁を得て成されたコレクションを紹介する「ひとの縁は、ものの縁」初公開の矢部コレクション展(来年一月九日〜二月十五日)です。

近年公開されることなかった



「日宝」店内の田沢数馬さん

予定を立ててみてくださいます。

■一筆啓上

当コーナーでは若手刀職や刀剣商のご紹介が続きましたが、編集委員会にて、刀剣の展示会などで必ずお世話になる各美術館の学芸員の方々も紹介させてもらえればというところで、今回寄稿していただきました。

志田理子(しだ・さとこ)さんは静岡県三島市にある佐野美術館の学芸員。二〇〇九年、東京芸術大学大学院美術研究科修了(日本彫刻史)。一二年に佐野美術館に就職。最近では渡邊館長とともに根津美術館で始まる清鷹展に取り組んでいます。

人当たりよく、一見ほんわかした彼女ですが、実は筋の通ったところも感じさせるユニークな性格だと思えます。

狭い刀剣業界だからこそ、次世代を担う若手のつながりが、こうした紹介の機会をきっかけに増えればと思います。(大平将広)

■日宝 TEL160-83321 東京都新宿区西新宿一―一四 京王百貨店六階 ☎03-3334-2111 (代表) (新堀賢将)

←次ページに続く

# あらためて人間国宝の わざの伝承を考える

一月十五日から二月二十三日まで東京国立博物館において「人間国宝展―生み出された美、伝えゆく技―」が開催された。同展は日本伝統工芸展六十回記念と銘打っているように工芸技術と銘打っているもので、陶芸・染織・漆芸・金工(刀剣を含む)・人形・木竹工の六分野の人間国宝展であった。

人間国宝とは、昭和三十年に文化財保護法に基づき設けられた認定制度である。正式には重要無形文化財保持者といひ、歴史上または芸術上価値の高い無形文化財の中で特に重要なわざを「重要無形文化財」に指定し、それを体得している人を

人間国宝とは、昭和三十年に文化財保護法に基づき設けられた認定制度である。正式には重要無形文化財保持者といひ、歴史上または芸術上価値の高い無形文化財の中で特に重要なわざを「重要無形文化財」に指定し、それを体得している人を



「人間国宝展」図録

肥後象嵌で認定された米光太郎師の鐔は、江戸後期の肥後金工の代表である榮寿や深信とともに展示されていた。翁の鐔が一步も引けを取らないことをうれしく思った。

「保持者」として文部科学大臣が認定することとなっている。わざの保存と伝承が目的であるために、保持者には一定の助成がなされている。現在までの五十八年間に工芸技術分野で認定された方は百六十九人である。今回の展示では、人間国宝の作品ばかりでなく、平安時代から江戸時代に至るさまざまな美術品が並び、いかにわざの伝承が必要であるかを物語っていた。伊勢神宮で行われた二十年

この制度ができて以来、刀剣の世界には欠かさず人間国宝が存在していた。一時は、刀匠三名、研師二名は斯界の指定席のようでもあった。残念ながら現在、一人の人間国宝もいないことは、誠に寂しい。

## 交換会紹介 九州刀剣会 初会

### 長いブランクを乗り越え刀剣会が蘇る

昨年末の刀剣業界に一つのニュースが流れたことは、まだ記憶に新しいのではないだろうか。そう、九州は博多に新たな刀剣交換会が設立されたことである。会主は東京代々木で「日本刀旗谷」を営む旗谷大輔氏である。東京の人間が九州で会を開く?こんな時代には!?と思った方も多かったのではなからうか。

ANAクラウンプラザホテル福岡である。決して狭くない会場は、七十名を超す参加者であふれ、品物の多さで足の踏み場もないほどである。関東や関西の刀剣商も来てはいたが、何と云っても地元九州の業者が多く、氏の人脈の広さをまざまざと感じさせた。魅力的な品も多く集まり、締めみてれば六千万円という出来高をたたき出した。



多数が参加した初会

のころまで、毎日泊まり歩き、現在の自分のベースを築いた地だからである。 大輔氏がこの地を選んだのは理由がある。それは氏が二十五年前の修業時代から駆け出し

## 私が出会った珍品・優品

### 銘 以蘊奥術治之 信州上田住 松吟子重寛

信州上田市は、長野県の東部に位置する都市である。現在では東京から新幹線で一時間ほどと交通の便も良いのだが、昔は群馬県から難所である碓氷峠を越えなければならぬ着けない地

であった。 この地の歴史は古く、奈良時代に既に既に国分寺が建てられ、別所温泉が開湯されたという。しかし上田の名が一躍広まったのは、戦国時代に信濃の豪族真



縦：80mm 横：75mm

## 五輪塔桐斧透鐔

田昌幸が、千曲段丘の要害の地に上田城を築いたこと始まり。徳川家康の軍勢を二度も撃退し、それにより徳川秀忠が関ヶ原の戦いに間に合わなかったことは、史上有名なことである。子の真田幸村も大坂夏の陣で徳川家康の本陣に迫っており、家康を最も恐れさせた知将として知られる。



中禅寺石造五輪塔

に、五輪塔・桐・斧の透しが施される。真田昌幸が豊臣側であることから桐があしらわれ、鍛冶町を表す斧があることから、戦国時代に城下の鍛冶町で作られたものであろう。

魚の美味さに感動し、人の優しさに助けられ、それなりに稼いだ金はすべて博多の中洲で使い果たした! しかし、十二年ほど前から九州刀剣界の衰退が始まり、ついに刀剣会が皆無に近い状態になっていたのである。市場が冷え込む中で、新たに立つ人も現れず、九州の友人や業者に請われて立つ決心をした。「人に遠慮するなんて大ちゃんらしくなか! やったらよかった!」と声をかけてきた友人たちに支えられ、氏も一念発起したのである。「人生は短い! 六十歳になったとき、あの時やっていたらよかったな

て後悔をしたくない!」と、やりと笑うその目の奥が子供のように見えるのは、動機が純粋な証である。九州に潜在的な刀剣の土壌があることは確かであろう。九州で会を開くことで、新しい品物がこの地に集まれば、この広大な地に眠る品物も出てくるはず、と語る大輔氏の挑戦は、まさに今始まったばかりである。頑張れ、大ちゃん! (大西芳生)

千曲川の右岸が上田城のある城下町で、左岸の塩田から別所温泉までは、鎌倉時代からの文化遺産が多く残り、「信州の鎌倉」との異称で呼ばれる。城下町には戦国時代の名残の地名があり、鍛冶町・鷹匠町・材木町など、職種によって職人の住む地区が分かれていたことがわかる。今回紹介する鉄鐔は、ねっとりとした鉄の練り模様をベース

そしてメインの五輪塔であるが、城下町内にはそれらしきものがない。しかし上田城内の南側、真田井戸の辺りから南を望むと、眼前に塩田平が一望できる。そしてその塩田の地に、鎌倉時代の二つの有名な五輪塔がある。一つは別所街道沿いの舞田石造金王五輪塔であり、もう一つは中禅寺石造五輪塔である。別所温泉は真田氏の湯治場であり、どちらの五輪塔

古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定  
**株城南堂古美術店**  
 代表  
**田中 勝憲**  
 〒153-10051  
 東京都目黒区上目黒四-3-110  
 TEL 03-3710-6776  
 03-3710-6776  
 FAX 03-3710-6777

もその道すがらにある。なぜ私がそんなことを知っているのか、おわかりだろうか? 私が生まれたのはその塩田の地であり、まさに中禅寺の周りは私の遊び場であった。そして小学生からは上田の城下町に居を移し、鍛冶町で少年期を過ごしたのである。私にとってこの鐔は、自分のルーツを思い起こさせる一品であり、珍品であり、掛け替えのない優品なのである。(大西芳生)



作品と併せ彫技を披露する泉氏

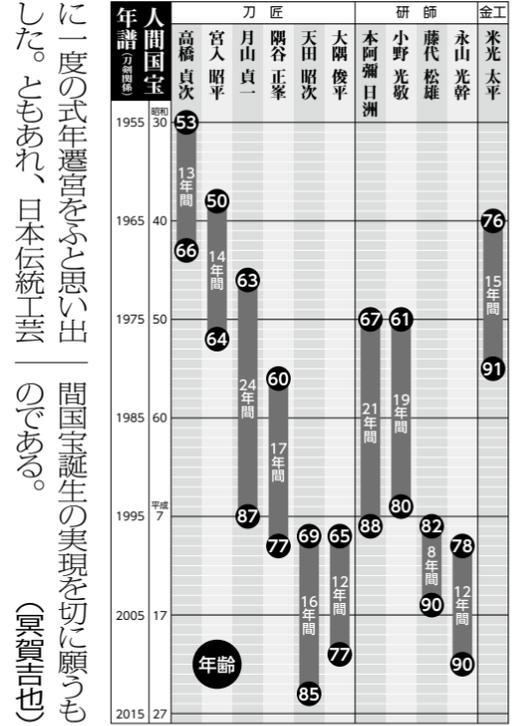
さらなる活躍が期待されます。(伊波賢一)

一月二十四日、東京六本木のアークヒルズクラブにて「伝統工芸金工の技」と称し、日本が誇る伝統工芸を現代に伝える金工・泉公士郎氏を迎えて講演会と作品の鑑賞、公開実演が開催されました。

NEWS & TOPICS

泉公士郎氏が「金工の技」を披露

属器の製作技術は、さらに鍍金・鍛金・彫金など独自の技術が育まれ、連綿と受け継がれて刀剣やその装飾に開花しました。明治の廃刀令後は、さまざまな細密工芸に応用されてきました。その高い技術力は、精緻なモノづくりの源であると言えるでしょう。



一度の式年遷宮をふと思いついた。ともあれ、日本伝統工芸の間国宝誕生の実現を切に願うものである。(眞賀吉也)



満員の講演会場と小松講師

江戸時代に移れば、元禄時代にはもはや戦が起こる可能性はなくなり、大名・大身は武士の

二月二日の「命がけの造形・戦国変わり兜を中心に」という題で講演準備をする中で、新しい「変わり兜」の見方に気がつき、一般的ではないと思いつつも講演内容とした。

特別レポート

佐野美術館講演に寄せて

本能寺の変の前年(天正九年)大馬揃の信長の出で立ち赤房両撃を置いた「大黒」に乗り、唐冠に花を挿し肩を描き金紗の頬当、紅梅と白の段縞小袖上に金縁取り蜀江錦小袖を重ね、紅緞子肩衣上下、金に黒の虎斑模様むかばき、馬具廻と「金赤黒白」の美意識。功ある者には莫大な恩賞を、怠る者には死をという軍律で指揮者がより安全な後方から指揮すること

吉井唯夫氏が大阪美術商協同組合の理事に就任

当組合理事である吉井唯夫氏が、新春の大阪美術商協同組合の理事会にて理事に選任された。大阪美術商協同組合の歴史は明治二十四年(一八九一)に組織された大阪商盛組に始まる。その後事業を大阪美術倶楽部と分け、昭和六年(一九三一)に名称を大阪美術商組合に変更、三十六年に

※本講演は佐野美術館で開催された「戦国アバンギャルドとその昇華―兜KABUTO」のイベントの一つとして開催されたもので、それにちなんで寄稿願いました。講演会場は満員で、当日申し込みの一般聴講は入室できないほどの盛況でした。講演後には小松様持参の本物の変わり兜をかぶらせていただけるとのこと、その機会に恵まれたお子さまや家族からとても喜ばれていました。(飯田慶雄)

公益財団法人日本美術刀剣保存協会東京都支部 「企画展 堀川国広とその二門」特別鑑賞会

「甲冑を着てみよう」が各世代に人気



甲冑を着てポーズを決める親子

参加者もさまざま、ご年配の方から、NHKの大河ドラマ「黒田官兵衛」が大好きな小学生の女の子まで。鎧を身に着けると、「思ったより重い」「腰で着ると軽くなる」二身が引き締まるなど、率直な感想や意見が飛び交いました。

イベントレポート

